

市長記者会見資料

(報道発表資料)



# 世界遺産 元離宮二条城 本丸御殿の公開について

～宮廷のみやび～

知られざる皇室ゆかりの御殿

令和6年6月17日

文化市民局元離宮二条城事務所

問合わせ先：075-841-0096



# 本丸御殿公開に向けたポイント

- 1 元離宮二条城本丸御殿の保存修理工事が令和5年度で完了。  
9月1日から18年ぶりに公開を開始します！（通年公開は初めて）
- 2 8月に、市民の皆様に向けた内覧会を開催します！
- 3 建築、障壁画、皇室にまつわるエピソードなど、  
本丸御殿は見どころがたくさん！！

# 本丸御殿の歴史

## 江戸時代～近代の宮廷文化を伝える貴重な建築

- 現在の本丸御殿は、明治17年（1884年）に二条城が皇室の離宮となった後、明治天皇の命によって、明治27年（1894年）に、京都御所の北にあった<sup>かつらのみやけ</sup>桂宮家の御殿の主要部を移築した建物です。
- 江戸時代の宮家の御殿で、これほどの規模を残しているものは他になく、重要文化財に指定されています。
- 明治から大正時代にかけて、<sup>よしひと</sup>嘉仁皇太子（後の大正天皇）や<sup>ひろひと</sup>裕仁皇太子（後の昭和天皇）等の宿泊所として使用されました。

※詳細は別添「参考1」（元離宮二条城本丸御殿 基本情報）を参照



玄関



御常御殿 松鶴の間

# 保存修理工事

## 耐震補強と障壁画の修理

- 本丸御殿は、平成7年の阪神淡路大震災で、建物に歪みが生じました。
- 室内を安全に観覧いただくため、今回の保存修理工事で耐震補強を施しました。
- 傷んでいた障壁画を修理し、きれいになりました。

事業期間

平成29年度～令和5年度

事業費

15.7億円



地震により傾いていた建物（修理前）



耐震補強の鉄骨柱（修理後）



障壁画の修理

# 保存修理工事



瓦葺に使う土を減らし、屋根の重さを軽減



分解・清掃した大正期の照明



修理を終えた大正期の照明



新たに刷り直した唐紙



修理した飾金具



新調した絹ベりのたたみ

# 見どころ①（建築）

## 宮家にふさわしい格式ある空間

- 御書院ごしょいん一の間ゆかは床が一段高くなっており、格天井ごうてんじょうで壁が金箔貼きんぱくばり、違棚ちがいだなを備えた御殿内で最も格式の高い部屋です。  
三の間は畳を上げると能舞台へと変わり、桂宮家最後の当主かつらのみやけ（淑子内親王すみこ）と明治天皇と一緒に能を楽しまれました。
- 御書院にある卍崩しの欄間は、よく似たデザインのものが桂離宮にもあり、桂宮家ゆかりの建物としてのつながりを感じさせるデザインです。



外観（御常御殿）



御書院一の間



卍崩しの欄間

# 見どころ②（障壁画）

## 237面の障壁画の原画を公開

- 当代一流の絵師たちによって描かれた多数の障壁画が現存。かのうえいがく きしちくどう 狩野永岳や岸竹堂をはじめ、きょうがのう 京狩野・円山派・四条派などの江戸時代後半に京都で活躍した様々な流派を見ることができます。
- すぎとえ 杉戸絵は18世紀末から幕末にかけて描かれたもので、はなぐるま 「花車」や「舞楽」といった宮家にふさわしい画題が選ばれています。



御常御殿 松鶴の間<松鶴図>



杉戸絵<花車図>

# 見どころ③（唐紙・照明）

## 繊細で雅やかな設え

- 唐紙とは、<sup>からかみ</sup>胡粉入りの絵具を塗った表面に、<sup>はんぎ</sup>版木を使って模様を刷った紙のことで、桂離宮などでも用いられています。

本丸御殿内では随所で用いられ、部屋や廊下を彩ります。

- 明治から大正時代にはじゅうたんやシャンデリアが取り付けられ、洋風の設えを取り入れた近代の宮廷文化を伝えています。



唐紙



唐紙



シャンデリア

# 本丸御殿に滞在した人々

- 明治天皇

御殿からの眺望を喜び、庭園の植栽等を細かく指示。

主要な部屋に名付け。

- 大正天皇 よしひと（嘉仁皇太子）

約10回も滞在。

愛犬を伴っての庭園の散策や、新婚旅行でも宿泊。

- 昭和天皇 ひろひと（裕仁皇太子）

約10回も滞在。

二条城周辺に飛ばされた飛行機を庭園から観覧。



御常御殿2階からの眺望



本丸庭園から御常御殿を望む

# 9月1日公開開始

## 少人数観覧・事前予約制

- ゆったりとスムーズに観覧できる環境を整え、優美で繊細な本丸御殿の魅力をじっくりと体感していただきます。

公開開始予定日	<u>9月1日(日)</u>
観覧方法	15人程度ごとの入室とする少人数観覧 <u>事前予約・時間指定のWEBチケット</u> を二条城のホームページ等で販売
観覧料金	<u>一般1,000円、中高生300円、小学生200円</u> ※入城料、二之丸御殿観覧料、本丸御殿観覧料の合計：一般2,300円、中高生700円、小学生500円

※チケットの販売開始は8月2日を予定しており、詳細は別途発表予定です。(観覧日の30日前から購入可能です)

※本丸御殿の観覧には、別途入城料(一般800円、中高生400円、小学生300円)が必要です。

※京都市民限定の年間パスポート(2,600円)で本丸御殿も観覧いただけます。

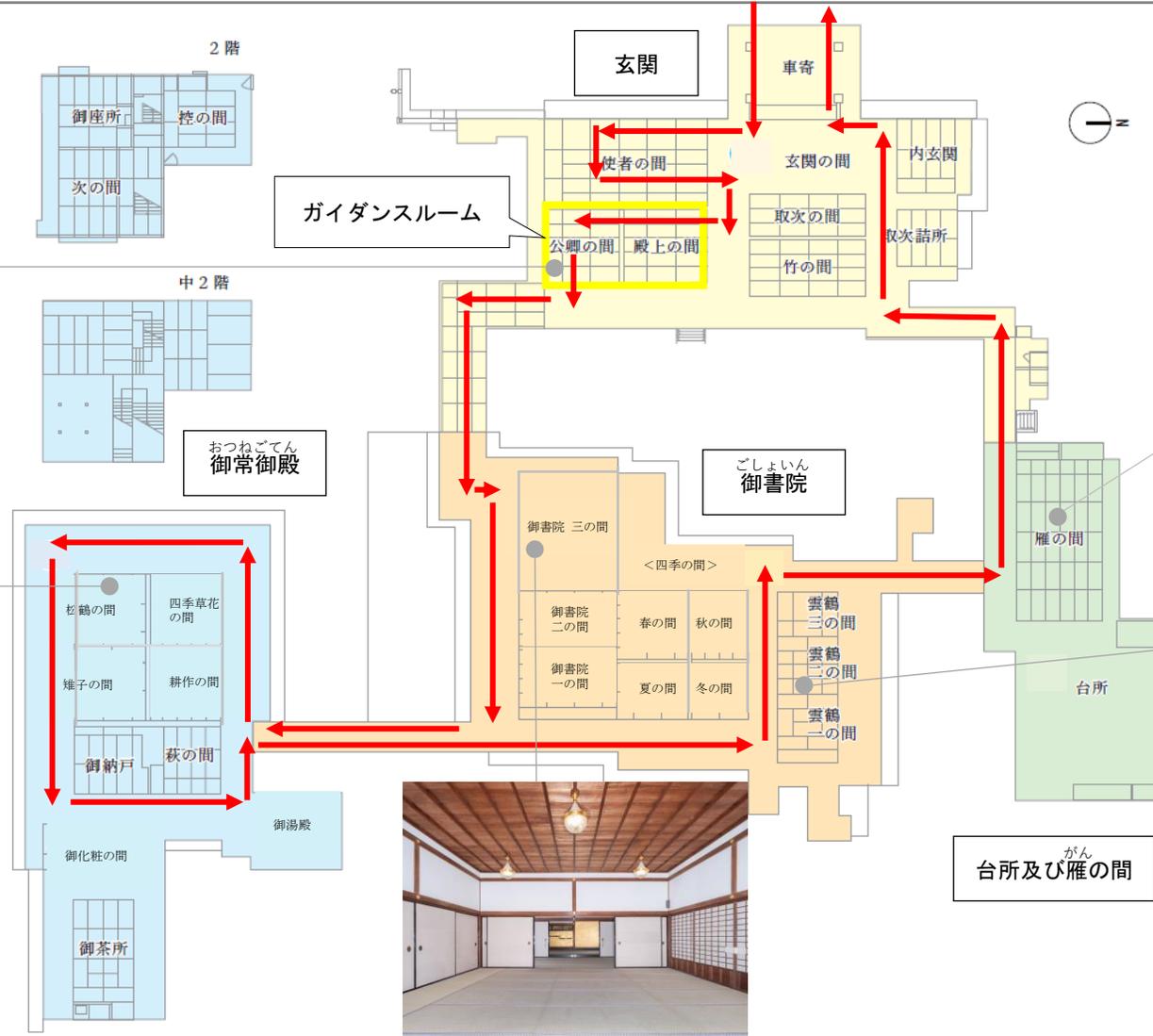
# 観覧ルート



ガイダンスルーム



しょうかく  
松鶴の間



がん  
雁の間



杉戸絵 (雲鶴の間)



御書院一の間～三の間

# 特別な体験・観覧の取組

## MICE・公式ガイドツアー

- 台所、御常御殿<sup>おつねごてん</sup>2階等についてユニークベニューとして活用し、MICE利用できるよう検討。  
世界のクリエイティブな人材が集い、交じり合う場を提供。
- 非公開エリア（台所（113㎡）、御常御殿2階（117㎡）等）を含めた公式ガイドツアーの検討。



台所（活用例：展示場）



御常御殿2階（活用例：対談・会議・撮影等）



ガイドツアー（イメージ）

# 市民内覧会の開催

公開に先立ち、京都市民を対象とした内覧会を開催！

開催期間	<u>8月8日(木)～22日(木)</u> [15日間]
開催時間	各日9:30～15:30 ※1時間ごとに観覧枠を設定
申込期間	<u>6月18日(火)～7月8日(月)</u> ※市民しんぶん7/1号にも掲載
対 象	<u>京都市民</u> (小学生以下は要保護者同伴)
定 員	<u>4,050名</u> (各日270名×15日間) ※応募多数の場合は抽選
料 金	入城料、本丸御殿観覧料、二之丸御殿観覧料ともに <u>無料</u>

※詳細は別添「参考2」(元離宮二条城本丸御殿 市民内覧会)を参照

The background features a repeating pattern of orange storks and stylized clouds on a blue background. The storks are depicted in various flying poses, and the clouds are rendered in a traditional, swirling style. The text is centered over this pattern.

8月2日よりチケット販売開始！！

お楽しみに！！